

## (5) 災害ボランティアセンターのレイアウトについて

センター内の班のレイアウトは、センターの設置場所の決定後、下記のレイアウト（案）を叩き台として、次の点に留意の上、決定する。

なお、時間の経過による被災者の状況変化や設置場所を勘案し、適宜、見直すこととする。

### 【留意点】

- ボランティア受付、コーディネート、送り出しの導線を短く、シンプルに、わかりやすくすること。
- ボランティア受付及び待機場所のために広いスペースを確保すること。
- 各班が相互の状況を把握しやすいように配置に留意すること。
- 感染症拡大のおそれのある時期に開設するときは、3つの密（密閉・密集・密接）を避ける配置とし、消毒・手洗い場の確保と、屋内に開設する場合は定期的な換気に努めること。

